

タイ・ユニオン・グループ(TUn)

ペットケア関連需要の高まりが加速。プレミアム化やペット・ウエルビーイングを受けて単価向上と利益率拡大
タイ | 加工食品 | 業績フォロー



フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG TU:TB | REUTERS TU_n.BK

- 2026/12期1Q（1-3月）は、売上高が前年同期比7.6%増、EBITDAが同6.5%増。持分法投資利益増や金融費用減が粗利益率低下を吸収した。
- 冷凍シーフード関連製品部門とペットケア部門が2桁の増収率。特にペットケア部門は販売数量と価格引上げで23%増収、粗利益率も改善。
- ペットケア部門は、ペットケア関連市場がプレミアム化トレンドやペット・ウエルビーイングへの関心の高まりを追い風に成長が加速。

What is the news?

5/5発表の2026/12期1Q（1-3月）は、売上高が前年同期比7.6%増の320.54億THB、EBITDAが同6.5%増の25.88億THB、純利益が同9.2%増の11.13億THB。粗利益率がトランプ米政権の相互関税に伴うコスト増の影響を受けて0.5ポイント低下の18.2%へ低下したものの、主に持分法投資利益の増加や金融費用の減少が増益率の伸びに貢献した。

1Qの製品部門別の業績は以下の通り。①「魚介類・水産加工品部門」は、売上高が前年同期比2.5%増の151.36億THB、粗利益率が0.2ポイント低下の19.3%へ悪化。製品販売量（トン数）が0.1%減だったものの、米国への輸出に関してトランプ関税のコスト増を価格転嫁で吸収した。②「冷凍シーフード関連製品部門」は、売上高が同11.6%増の94.20億THB、粗利益率が1.1ポイント低下の11.3%へ悪化した。前年同期に急拡大した飼料部門の正常化に伴って利益率が悪化したものの、販売数量が4.4%増加したことに加え、販売価格の引き上げも増収に寄与した。③「ペットケア部門」は、売上高が同22.6%増の51.15億THB、粗利益率が0.3ポイント上昇の24.9%へ改善。販売数量が14.3%増加したことに加え、販売価格の引き上げが奏功した。④「高付加価値その他部門」は、売上高が同1.2%減の23.83億USD、粗利益率が3.9ポイント低下の24.0%へ悪化。米国の需要が低調だったほか、相対的に高い利益率の日本市場が伸び悩んだことが粗利益率の低下につながった。

How do we view this?

通期会社計画は、売上高が前期比3~4%増、粗利益率が19~20%、売上高販管費率が13.5~14.5%（1Q実績14.5%）、設備投資支出額55~60億THBと従来計画を据え置いた。トランプ関税コストによる利益率悪化要因は続くものの、米国を中心とした需要拡大を受けてコストの価格転嫁および高付加価値ペットケアを重視した製品ポートフォリオ・ミックスの改善が効果を上げている。

日本の三菱商事（8058）は昨年8月、同社への出資比率を現在の20%に引き上げると発表していたが、昨年9月に実施したTOB（株式公開買付）が不成立となった。同社の成長にとってマイナス要因とみられるが、ペットケア部門において日本市場は高級・健康志向に伴うプレミアム需要が強いことから業績貢献度が高い市場として重要視されている。日本を含むアジア・オセアニア地域をはじめとして欧米を含むペットケア関連需要は、ペット向けおやつや成長などプレミアム化トレンド、およびペット・ウエルビーイング（幸福の実感）への関心の高まりを追い風として拡大が加速し、単価向上と利益率の拡大につながっている。

業績推移

※参考レート 1THB=4.86円

事業年度	2023/12	2024/12	2025/12	2026/12F	2027/12F
売上高(百万THB)	136,152	138,433	132,718	136,429	140,648
当期利益(百万THB)	-13,933	4,984	4,609	4,585	5,025
EPS(THB)	-3.15	1.08	1.16	1.10	1.20
PER(倍)	-	11.03	10.72	10.82	9.92
BPS(THB)	11.61	10.92	10.03	11.57	12.04
PBR(倍)	1.14	1.09	1.24	1.19	1.03
配当(THB)	0.54	0.66	0.70	0.69	0.74
配当利回り(%)	4.08	5.54	5.63	5.81	6.23

(出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	0.69	(予想はBloomberg)
終値(THB)	11.90	2026/7/8

会社概要

1977年にマグロ缶詰の製造、輸出を目的に設立。タイ国内で冷凍食品・チルド食品およびシーフード缶詰の製造・販売を行っているほか、子会社を通じパッケージングや印刷、ペットフードなどの事業も手掛けている。

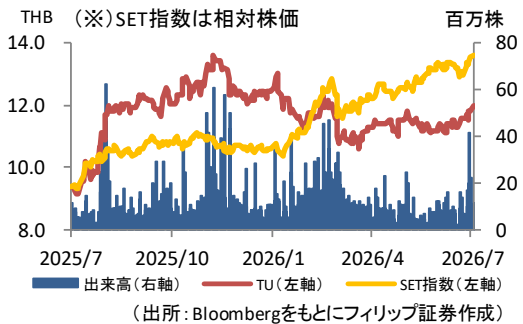
海外においては、米国子会社がシーフード製品の製造・販売を行うほか、レストランチェーンや小売業者、卸売業者向けにエビをはじめとする冷凍シーフード製品の輸入販売を行っている。欧州子会社は欧州、米国、オーストラリアで密封包装食品やチルドシーフードの製造・販売を行っており、アジアの子会社はベトナムおよび中国でシーフード製品の製造・販売を手掛けている。

2015年に世界最大のシーフードレストランチェーンの米レッド・ロブスターへ出資を行ったが、2024年1月までに全株式を売却した。

北米では「Chicken of the Sea」「Genova」、欧州では「John West」「Petit Navire」「Parmentier」「King Oscar」「Mareblu」「Rügen Fisch」、アジア太平洋地域では「SEALLECT」「Fislio」「King Oscar」「Qfresh」「Monori」「Bellotta and Marvo」などのブランドを展開する。

企業データ（2026/7/8）

ベータ値	0.74
時価総額(百万THB)	45,876
企業価値=EV(百万THB)	116,439
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	119.6



主要株主（2026/7）

	(%)
1.タイ・ユニオン・グループ	10.38
2.STOCK EXCHANGE OF THAILAND	8.97
3.Chansiri Thiraphong	6.33

(出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。